令和７年度第１回座間市地下水保全連絡協議会　会議録

１　日　時　　令和７年５月２９日（木）１４：００～

２　場　所　　市役所５－４会議室

３　出席者　　委　員　　西海会長、山内副会長、飯島委員、坪田委員、西委員、加賀原委員、田川委員

事務局　　くらし安全部長、生活安全課長、主任、主事、主事

４　公開の可否　☑公開　☐一部公開　☐非公開

５　傍聴者　　なし

６　議　題

（１）座間市地下水保全基本計画改定業務委託及び座間市地下水総合調査事業委託について

（２）その他

７　配布資料

資料１　令和６年度座間市地下水保全基本計画改定業務委託及び座間市地下水総合調査事業委託

資料２　座間市地下水保全基本計画（素案）

８　議　事

（１）座間市地下水保全基本計画改定業務委託及び座間市地下水総合調査事業委託について

①　事務局説明

昨年度と今年度にかけて行っている地下水保全基本計画改定の中間報告と、昨年度行った地下水総合調査の結果報告を行います。

なお、報告は当該事業の委託事業者から説明をします。

②　質疑応答

・坪田委員

水辺環境教室は湧水ツアーとは別に行われていますか。子どもを対象としたものはありますか。また、実施主体は民間団体等ですか。

・事務局

水辺環境教室と湧水ツアーは別のもので、令和６年度は湧水ツアーのみ開催しました。湧水ツアーは全年齢を対象としましたが、別途子どもを対象としたものも検討中です。湧水ツアーの企画・運営は座間市 くらし安全部 生活安全課が行っています。

・加賀原委員

雨水浸透能調査の結果はどのような施策に繋がるのですか。

・事務局

過年度調査と比較して状況を確認・把握します。また、水収支検討を行う中でも活用します。

・西海会長

雨水浸透能調査の結果の飽和透水係数とは、値が大きい方が望ましいのですか。

・事務局

値が大きい方が地面に浸透しやすいという指標です。

・坪田委員

県央地域地下水保全ブロック会議は終了したとありますが、県や他自治体との関係は何かありますか。以前は５か年計画で地下水保全対策が進められていたようですが。

・事務局

県央地域地下水保全ブロック会議は終了しましたが、地下水については、他自治体とやり取りを行うことは少なくありません。直近では、水源保護施策に関連して、地下水について神奈川県、秦野市、座間市で意見交換を行いました。秦野市は地下水が豊富であり、個別に連絡もしています。

・坪田委員

地下水は相模原市から流れてくるので、他の自治体とも関係構築できるとよいですね。

基本計画書素案について、いくつかあります。第２章「旧基本計画の取り組みと課題」とありますが、いつ時点の目標であるか混乱しやすいので、「旧基本計画の進捗と検証」などとするほうがよいでしょう。

座間市は地下水保全に長く取り組んでいますが、その歴史や経緯が不明です。これまでの施策を年表等で示すことで、基本計画で市の取組を広報できるのではないでしょうか。

基本計画の序章に鳥観図がありますが、大変見やすいものです。市民に知ってもらうため、図中にQRコード等を付け、HPの関連ページにアクセスできるとよいと思います。

また、LINEアンケートの結果などを巻末資料に載せるとよいでしょう。

基本計画に出てくる専門用語については注釈をつけるか本文中で説明を付け加えてほしい

です。

雨水浸透ます設置調査の建築時期の区分けが、なぜ１９８０年になっているのでしょうか。少し情報が古いと感じますがいかがでしょうか。

・事務局

計画書素案への御指摘、ありがとうございます。検討し、分かりやすくなるよう工夫したいと思います。

ご質問の建築時期の区分けですが、市の要綱で１９８０年から雨水浸透施設の設置について指導を行っておりますので、参考のために比較出来るよう記載しています。

・西委員

pH や EC などは補足説明するとともに、標準的な値を入れるのはどうでしょうか。

・事務局

巻末に用語集を載せますので、分かりにくい用語などはそこで解説するようにします。

・西海委員

協議会に参画するまで基本計画の存在を知りませんでした。同じような市民も多いと思います。どこに行けば手に取って見ることができるのか、周知に力を入れてほしいです。

・事務局

基本計画改定の当初は広く周知しますが、時間が経つと、市民が御覧になる機会が少なくなってきているのは事実だと思います。分かりやすく作るとともに、周知にも努めるようにします。

・坪田委員

令和８年度に基本計画が公開されてから広報活動するのではなく、基本計画公開と同時に広報も早めにスタートできるとよいですね。

・事務局

広報効果を考えて、公開と同じタイミングでの広報ということですね。御意見ありがとうございます。先ほどの御指摘にもありましたが、計画は周知も重要ですので、効果的な広報を意識してまいります。